つくばセンタービル改修計画に関する説明会議事録

日　　時：令和４年（2022 年）２月 14 日（月曜日）19 時～20 時 30 分
場　　所：オンライン（ZOOM）
事 務 局：つくば市 都市計画部 学園地区市街地振興課
参 加 者：８人（延べ人数）

【学園地区市街地振興課長より説明スライドに沿って説明し、その後質疑応答】

（参加者Ａ）
　こんばんは。私は認知症初期の方たちのサポートをしている市民なんですけれども、吾妻交流センターでサロンをさせていただくのがメインの活動になっています。それで関心を持っているんですけれども、この改修で市民の交流の促進ということを市長さんも言ってくださって、認知症になっても普通に暮らしていけるまちを考えている私たちにとっても、交流というのが自由にできればとってもうれしいと思うんですけれども、質問で一つ目は、この改修したスペースの中で、多少の飲食ができる場所っていうのはどこなのかなっていうことが知りたいです。まさか調理室だけではないでしょうね、というのがそれなんです。自由な交流って、やっぱりしゃべることがあって、それから多少お茶でも飲むとか、そういうことが許されるスペースがあるのがとってもありがたいと思うんですけど、そういう意味でどうでしょうか。さっき、オープンのフリースペースは主に学習とおっしゃったような気がするんですね。お話するにはキッズスペースの隣のフリースペースって、えっ、そうなんですか。吾妻交流センターでも、勉強していらっしゃる学生さんがいるんですけれど、私たちは邪魔しないようにと通る雰囲気です。さっきおっしゃった、フリースペース、インナーモールの B っていうとこかな、そこがそういうスペースになるのかなと思って、ちょっと。聞き間違いだといいけどなと思っているんです。お願いします。

（市長）
　まず飲食ですけれども、フリースペースは、基本的にどこも飲食可能ですので、調理室のみってことではなくて、どこでもお使いいただけます。それからフリースペースも、勉強している子供たちに配慮してくださって大変ありがたいのですが、別に話をしちゃいけないとかそういうことではありませんので、インナーモールのＢの方においてもお話をしていただくことは可能です。
　ただ、その辺は全体を見ながら、あまりそこで叫んだりしていると、やっぱり他の方とのいうのはあるけれど、常識的な範囲でお話をいただくのは、当然フリースペースと名前をつけている限り、やっぱりそこはフリーになるんだろうと思います。運用していくうちに何と

なく棲み分けがされていくのかもしれませんけれども、その時の状況でここはもう絶対勉強の高校生しか使えないからお話禁止です、とかそういうことをやるつもりは全然ありませんのでご安心いただければと思います。

（参加者 A）
ありがとうございます。あと質問があるんですけども、後でそれは後にします。

（参加者Ｂ）
当団体は音楽で地域活性化ということで約 17 年、今年で 18 年目に入っていくんですけれども、センターのここの広場、このステージでも何度も音楽祭みたいなことをやってきました。それでやはり先ほど出ていたんですが、非常にここは使いづらいということで、荷物の搬入搬出が非常にしにくい。大変な思いをして荷物を運び上げなきゃいけないっていうのと、それから屋根がないので雨が降ると本当に駄目になってしまうということで、非常にリスクの高いステージなんです。それで実は私はエスカレーター設置に反対した立場でちょっとあれなんですけれども、磯崎新氏のデザインを壊さない、何とか折衷案の中で、このステージの上だけでも何かしらの屋根をかけることは可能ではないかと。そこのところのどうにか落としどころが実はないかなと思っています。ここに屋根があることによって何が大きく変わるのかというと、音響を設置することができる。屋根の裏側にスピーカーを仕込むことによって、演奏者が搬入搬出する音響類を最低限少なくすることができる。それから照明をつけることによって夜の演奏会ができるようになる。今、日が暮れるとほぼ演奏会ができないんですね、真っ暗になってしまって。水銀灯がぽんと付いてるだけで。ですから、ここに屋根をつけて、照明を仕込んで、音響をつけると随分利用価値が上がってくるだろう。そこの、うまく磯崎新氏のデザインを壊さない程度の屋根のかけ方って、実は可能ではないかなって思っています。
それからもう一つ、裏側のバックヤードの部分をもう少しちゃんと改修することによって、更衣室とか演奏家が着替えるところは今のところないので、横にテントを立ててそこで着替えたり、荷物を持ってきた楽器のケースとかをそういうところに全部置いておかなきゃいけないという現実があります。そこで裏側に更衣室とかがあると、そこへ全部収納することができて、演奏家の人にとっても、非常にやりやすいっていうのがあります。
それから、ここ一番の問題で、アンタッチャブルな部分なんですが、駐車場問題が。やはりここを使うようになると、最低限でも 3 時間、5 時間無料にならないと、演奏家も含めて、イベントの開催者も駐車場問題で非常に不安を持って、お客さんにゆっくり楽しんでねっていうと、いや 3 時間しかいられないからすぐ帰らなきゃっていう問題が出てくるんですね。ですからここはなかなか難しい問題なんですけれど、やっぱり何とか駐車場問題をみんなで取組んでいかないと、なかなかセンター地区の活性化っていうのはすごい難しい問題がそこにあるのだろうなと思います。ここは頑張っていただきたいと思います、是非とも。

あともう一つ、ちょっとここから離れますけれども、先ほどのノバホールの小ホールの方なんですが、今の小ホールって実は使い物にならないって言われていて、音がすごい漏れてしまうので、ピアノの発表会の先生とか、それから演奏家の人にとっては非常に使いにくいってことで、すごい評判が悪い施設だったんですが、そこら辺が完全に音漏れがないような状態で使えるんでしょうかっていうのが、やはり音楽をやってきた立場からしては非常に思います。皆さんの不満の声がいっぱい入ってくるので、そこは何とかちゃんとしたホールとして成立させて欲しいなあと思います。

それからもう一つが、下の音楽室ですね。交流センターの方に設置される音楽室なんですが、実はこれが完全な防音・遮音性能をしっかり作らないと、管楽器とかドラムとかが入ってくると、もうがっつり音が漏れますので、そうすると周りの会議室とか他のところから絶対クレーム来るだろうと。これはもう本当想像できます。扉が一重扉っていうのも非常に気にかかるんですが、二重扉にして音漏れを完全に防ぐっていうのが常識なんですけれども、やっぱりここは何か簡易に作られているんじゃないかなと、ちょっと心配があります。だから音楽をやる以上は、防音性能をちゃんとやるというところが非常に重要ではないかなと思います。

あとは私は市民活動センターに 2 年ぐらいスタッフとして勤めていたんですけれども、やはり利用者の一番の不満が会議室が音漏れがすごい、自分たちが話してる声が周りに全部聞こえてしまうのがすごく嫌だ、というのが一番でして。今回の会議室が一応クローズな状態で 1 個あるんですけど、一つしかないのかっていうのが実はちょっと正直言って驚いてます。やっぱり、会議ってのは5、6人でやるのもあれば2人でやる会議もあるし、10人ぐらい入る会議もあるし、いろんな会議のパターンが実はあるんですね。そうなると、やっぱりフリースペースでやればいいじゃないか、簡易の扉で仕切ればいいじゃないかっていうのもあるんですが、それでは周りに音が聞こえてしまう、周りの音が入ってくるっていうのは、実は会議してる立ち位置からすると、そこは非常に不満に繋がっていくのではないかなと思います。

つくばみらい市がみらい平の駅のそばに、みらい平市民センターをつくったんですね。そこの市民活動センターのフロアが非常によくできていて、会議室が非常に先進的な会議室の作り方をしていて、2 人、4 人、6 人とかっていうの小分けを非常にうまく、小さなスペースで区切ってですね、作られているんで、ぜひそういうのを見学に行くなりして参考にしてですね、会議室のあり方を考えていただきたいなというふうに思っております。以上です、どうも。

（市長）

ありがとうございました。参加者 B さんたちがやられている音楽活動というの私もすごく価値があるものだと思ってますし、私自身も音楽好きの一人としてお気持ちは非常に伝わってきました。

屋根については、エスカレーターも、やはり様々なお声がありましたけれども、我々としては、市民窓口を BiVi に移すという中で、エスカレーター必要ないかなという判断を最終的に意匠も含めてしたわけですが、意匠については、何が大丈夫で何が大丈夫じゃないかというのは、かなり個人、それぞれによるんだろうと思いますね。

同時にやっぱり屋根があった方が様々使い勝手がいいというご意見も一方でたくさんいただいてもいますし、もちろん絶対に反対という方もいらっしゃいます。そういう中で、今回の計画の中では、屋根というのは除外をしていますけれども、やっぱりそういう機運がどういうふうに市民側で出来てくるかということが私は非常に重要だと思っています。

ですので、例えば今回、エスカレーターについてもたくさんご意見をいただきましたけれども、エスカレーターについて様々ご意見をしてくださった皆さま方ともですね、例えば屋根についてはどうですか、なんていうことを、例えば参加者 B さんたちともお話をしていただくといいのかなと思ってまして、そういう形で対応していく中で、じゃあこういうものであれば、磯崎先生の意匠にも影響もしないで、かつ、良いものになるかもねといったようなところをですね、みんなで考えていく必要があるのかなというふうに思っています。

私も常々意匠を大事にしなきゃいけないということを言い続けてきて、最終的にかなり意匠を尊重する形になりましたけれども、これでセンタービルの改修がすべて終わったということとは思っていませんので、常にですね、これは磯崎先生ご自身がおっしゃってますけれども、建物の役割というのは変わっていくということをおっしゃっていますので、その中でどういう変遷をしていくかということは、やっぱり非常に大事なことだろうと思っています。

ですので、今後どういう形で、屋根についての機運が出てくるかというようなことも含めて、今後もいろいろご活動いただけるといいのかなと思っています。

倉庫とかバックヤードについては、本当にご指摘の通りですので、これはおそらく今回の改修でかなり改善をできるんじゃないかと思っていますし、皆さんが楽屋といえるほどの立派なものにできるかどうかちょっとわかりませんけれども、そういった改善はしていきたいというふうに思っています。

駐車場については、やはり一部のイベントの方をということはこれまでやっておりませんけれども、お店で買うといくらとか、そういう中で対応していただいてますので、今のところはその枠組みの中で。それからやはり我々としては、車ではなくて、公共交通の結節点でもありますので、1 日でかなりの人が出入りをしてるような場所となっていますので、できるだけ公共交通で来ていただけるような取り組みもしていく必要があると思っています。

小ホールについては、ご指摘のように、バックステージもない部屋でしたので、それを今回はきちんとバックステージも設けてですね、ホールとして機能するようなものにしたいと思っています。

音楽室の方については、できる限り防音性は当然高めたいと思っていますが、スタジオレベルのものまで、どこまで近づけることができるかというのは、予算との兼ね合いにもなっ

てくると思っていまして、そういった中で、どこまでのことができるかということをですね、見ていくことになるかなと思ってます。

それから市民活動センターの部分の会議室は、本当に今の会議室は使い勝手が悪いってことは私も重々承知してました。会議室は、他にもありますのでちょっと、もし説明できたら資料出せますか。1 か所だけではなくてですね、他にもありますので。

（事務局・説明者）

私の方から補足でご説明します。

少し説明が不足してしまいましたが、3 階になるんですが、こちらの会議室（会議室 A）は、新たに作っております。こちら（視聴覚ホール）はパーテーションで区切って全体を使うこともできますし、小さめの中会議室のような形で 2 つ使うこともできます。講座室と言っているところも、会議などにも利用は可能ですし、（1 階の）フリースペースの一部をパーテーションで区切って使うこともできます。先ほど 1 名から 2 名という部分もありましたが、相談室として設置しているところも、市民の方も使えるような運用ということも検討したいと思います。会議室はここだけということではなくて、3 階の方にも会議室ございますし、いくつか用意しておりますので、これまでと同じくらいの会議室を確保しながら、外には聞こえないような構造にするということで、施設の機能向上を図っているというところです。すみません、説明が不足しておりました。

（市長）

どうぞ、参加者 B さん、手を挙げられましたか。

（参加者 B）

挙げました、はい、すいません、ありがとうございます。

非常にわかりやすい説明でありがとうございました。だから、そういう意味では、ちょっとステージの上だけ屋根をかけるっていうのもなかなか大変なことだろうと思いますので、そこはうまく話をしながらですね、落としどころを見つけていただければと思います。その方が活性化には繋がるだろうと。

それから市民活動センターの場合、広場が見える、ガラス面に関してですね、ガラスに沿ってカウンターを設置して、1 人とか 2 人で来た人が気楽に座れるようなスペースを作るのが、実はいろんな人が入りやすいのではないかっていうふうに思います。テーブル席だけですと、ちょっと入りにくかったりするんだけど、カウンターでガラスの方の外を見ながら座るっていうのは、実は若い人でもふらっと 1 人で来た人が座るのにはいいのかなって。市民活動の入りやすさを作るにはそういうのがあったらいいのではないかっていう。つくばみらい市にある市民活動のセンターにそんな形で設置されていて、これは非常に面白いって思ったのがあるので、ぜひそういうのも参考に取り入れていただいたらと思います。はい、

ありがとうございました。

（市長）

ありがとうございます。椅子やテーブルの配置は、これから詳細を詰めていくところですので、いただいたようなご意見をどういうふうに反映できるかとか、私どもも当然入りやすさということはすごく大きなテーマだと思っています。ただ意匠も大事にしようとすると、一番特徴的なガラス面を全面触ってしまうということもできないだろうという中で、どういう工夫ができるかということを考えていますので、その配置等については、いろいろいただいたご意見を参考にしながら考えていきたいと思います。ありがとうございました。

（参加者 A）

すみません。今度は別の角度で、まず、ありがたいなと思っているのは、コロナの 3 回目の接種に関して、漢字で書く筑波交流センター等の一部の交流センターで、ネット環境のない方たちのサポートもしていただけるっていうふうに変わりまして、私の知人たちで何人かの人がとっても安心して、ありがたいなというふうに言ってらっしゃいます。前回はいくら電話しても駄目っていうことで、いつ予約できるかわからない、自分は市民として劣等な市民なのか、下層な市民なのかっていうふうな気持ちも言ってらっしゃった方たちもいたんですけども、今回は非常に市の対応で、ありがたいっていうなことを言ってらっしゃいます。

そこで、この市民センターの改修案を見ると、消費生活センター、市民活動センター、吾妻交流センター、国際交流協会っていう、そういうお役所的な窓口が 4 つ並んでいるんですけれども、私たちが一緒に活動してる、高齢の人とか健康に不安がある一人暮らしの方とかですね、そういう方って、誰にどういうふうに相談していいのかっていうことをすごく不安に思ってらっしゃるんですよね。それは、ある方なんか困ったら私は警察に行くなんて言ってるんです。そのくらいどこに相談したらいいかっていうことがわからないっていうような方たちもいて、申し訳ないんですけど、役所とかそういう公共機関って、市民にとってはとっても頼りになって信頼できる場所なんですね。その窓口がこういうふうに 4 つ並んでるんですけれども、特に今言ったような方達はネットでのいろんな市からの情報を得る力も弱いですし、何かこういうふうな窓口がいくつも分かれていないほうがいいのではないかなと思います。これが私の言いたかったことなんです。

こういうふうに分かれている必要があるのかもしれないんですが、どこかに相談を持っていけば、その場合は、消費生活センターですよっていうふうに言ってくださるとか、そういうふうになっているのではないかなと想像するんですけれども、何かこういう相談の窓口って、なんかあんまり看板いっぱい分けて、どこに行ったらいいのかなっていうのがわからないっていうことじゃなくて、全部市民のいろんな生活のサポートが目的でしょうから、今までのこの 4 つの相談の窓口をそのまま並べた形じゃなくて、何かもうちょっと市民が

安心して相談に行けるような形の窓口にしていただくっていうのは無理でしょうか、っていうのがもう一つの私の質問です。改修は、建物だけじゃなくて、市民のそういう気持ちに安心して相談できる、そういうふうなことに答えていただくのは無理でしょうか、お答えしていただけるとありがたいです。

（市長）

ありがとうございます。まず、例えばコロナの予約っていうのは今、すべての交流センターと、それからすべての地区相談センターというところでも行っています。この地区相談センターというのが、実は参加者 A さんがお話をされた、まさにそういう組織でして、6か町村が合併して、つくば市が誕生したわけですけれども、今までの村役場・町役場がなくなってしまって、皆さんが気軽に相談できる場所がなくなってしまったわけなんですね。例えば、桜の窓口に行っても、それは市役所の道路課ですとか、それは教育委員会ですとか、そういうふうに言われてしまうことを解消するために、私が就任してすぐに地区相談センターというのを 6 か所に作りました。特に区長さんや地元の皆さんから月に合計すると 100 件以上のご相談を受けたりしてるんですけれども、必ずそこで、たらい回しにしないで、お返事もお返ししていくというような相談センターを作っていますが、今のお話を聞いていて思ったのは、そういうことがきっとまだ認知されてないだろうなということも反省をしましたので、もっとそういう場所が、皆さんの近くに、わざわざセンタービルまで来なくてもあるんだよということを、我々は広報をしっかりしなくちゃいけないなということも感じました。

今回入る４つの団体は、それぞれ随分性質が違うものではあったりするので、それをなかなか一つの相談総合窓口みたいな形には、なりにくいかもしれないんですけれども、逆に迷わずに相談に行けるようなものにしたいというふうに思っています。BiVi に市民窓口はまた別で作りますので、そこで、どういう相談までできるかというのは、今、検討してるんですけれども、例えば、そこと本庁舎をつなぐような仕組みも作っていくことができるんじゃないかとか、そんな話もまだ検討段階ですけどしています。この４つの場所というのはやはり４つの相談にはなってしまうんですが、皆さんの近くにある相談センターをよく使っていただければ、まずありがたいなということとですね。センター地区でもそのような、できるだけ簡易な窓口はあったほうがいいだろうなということは思っていますので、それはちょっと今、まだお約束できるものはないんですけれども考えているところではあります。

（参加者 A）

そうでしたね、ごめんなさい、ありがとうございます。地区相談センターっていう存在を知らないぐらいで申し訳ないです。確かに、漢字の筑波交流センターにはありましたね。相談センターとその違いがよくわからないぐらいでした。なんで２つ窓口があるんだろうって思ったぐらいわかってなかったです。その広報はぜひお願いししたいということと、ここ

をせっかく改修されるので、そういう安心して相談しやすい、簡易な相談窓口と仰ってくださったんですが、そういう雰囲気を作ってくださると、みんな行きやすいかなと思います。ありがとうございます。

（参加者 C）

私は耳が聞こえにくいです。それで補聴器をつけています。そして、この説明会は、まさに市民活動センターでノートテイカーを伴って聞いています。

この説明の中でいくつか感じたことですけれど、まず一つでは、1 階に音楽室と和室があるっていうところですけれど、例えば、茶道をしているときに、楽器を多く使うようなイベントがあったりすると、うるさい。例えば私も同じ難聴者の人と会議をするときに、隣が詩吟をやっていたりすると、会議にならないということもあったりしました。なので、音楽室だけじゃなくて、お部屋の方も防音っていうのをしっかりしていただきたいと思いました。

あとは、2 階の方のホールに音をクリアにするヒアリングループっていうものを設置してくださるそうで、どうもありがとうございます。ループはお部屋に埋め込むような形になっているかもしれませんけれど、これから備品を購入することを考えていくって話でした。実は携帯型のヒアリングループっていうのがあって、それがあるとアンプですとかループを持っていって設置すると、どの部屋でも音をクリアに聞けるというのがあります。なので、携帯型のループを、ぜひとも購入して欲しいと思っています。

つくば市は筑波技術大学もあって、耳の聞こえない、聞こえにくい若い人も多く学んでいます。また、聞こえない、聞こえにくい子供たちも市民として住んでいるので、ぜひとも耳の聞こえにくい人が使いやすいような施設になるようにと願っています。以上です。

（市長）

ありがとうございました。防音についてはですね、先ほどのお答えの繰り返しになってしまいますけれども、できるだけのものにはしたいというふうに思っています。こういうご意見もいただいていますので、それはできるだけ努力をするということでご了承いただければと思います。

（事務局・説明者）

私の方からヒアリングループの検討状況をご説明したいと思います。

ヒアリングループをぜひ設置して欲しいというご意見いただいておりますので、今、設計の方とも調整して検討しているところです。ただ今回の改修が既存施設の改修ですので、どこまで埋め込めるか、例えば壁を剥がしたり、天井を剥がしたり、床を剥がしたりという工事が一部なので、どこまで埋め込み式でできるかというところを検討してます。ですので、それができないところは、携帯型のものというところで備品対応になる可能性もありますし、あとは入れるべき部屋、必要な部屋がどこかというところも、どの場所がいいのかとい

うところも検討しています。例えば 3 階の視聴覚ホールのようなところがいいのか、会議室がいいのかというところも含めて少し検討しているところで、なるべく設置したいと思っていますが、既存施設の改修というところで、どこまでできるかというところを今考えております。

（参加者 C）

どうもありがとうございました。あと、もう一つですけど、先ほど屋根のお話が出てきましたけれど、屋根があると良いことは私どもの方にもありまして、補聴器や人工内耳という音が聞こえるような機械をつけている人達にとっては、水に濡れるっていうのはものすごく駄目なことなんです。水に濡れると機械が故障してしまいます。

屋根があると、いろいろなイベントを、耳が聞こえにくくても楽しめるというようなメリットがあるので、すぐには無理かもしれませんけれど、屋根をつけるということを検討してほしいです。以上です。

（市長）

ありがとうございました。情報保障という意味で、ヒアリングループは非常に重要だと考えていますので、先ほどの課長の答弁の通りですけれども、どういうことが可能か検討してきたいと思ってます。

屋根のご要望がそんなたくさん出るとはここでは予想してなかったんですけれども、今回皆さんからいただいたご意見ということで、受けとめたいと思っています。

ただ、繰り返しになりますが、やはり絶対に反対という皆さんもいらっしゃいますし、意匠をどうするかというような問題もありますので、ちょっと長い時間をかけて、皆さんに積極的に、それぞれの立場で議論をしていただくということが、今回いろいろなもののプロセスで考えても必要だろうと思いますので、ぜひそういう際に、いろいろご発言いただけると良いのかなと思いますのでよろしくお願いします。

（参加者 B）

まず最初に、今の方のお話にあったように屋根をかけるっていうのも、考え方としては最初にいきなり全体に屋根をかけるっていう案が出てきたので、あれで皆さん相当驚いて絶対反対っていう意見が出てきた。ですから、一つは、客席とステージ等を含めた狭い範囲の中で客席まで屋根をかけるっていう考え方。それから、ステージの上だけ屋根をかけるっていう、それによって随分ハードルが変わってくる。一番何とかなりそうなのは、ステージの上だけ屋根をかけるっていうのかなと思います。客席の上にかけると、やはり見た目がちょっとデザイン的に変わってきちゃうので、それはちょっとハードル上がってくるかなと思います。全体にかけるっていうのはちょっと無理だろうと、正直言ってそれはないかなと思ってます。

もう一つの意見なんですけど、私のようにボランティアの立ち位置で団体をやってると登録するのに３か所必要なんですよ。社会福祉協議会、それから市民活動課、それから交流センター、これ３つに登録するような形になる。これを何とか、ＩＣカードでも何でもいいんですけれども、カード一つで、登録すればカード一つができて、それをいろんなところで、３つのところで使えるというふうな、何かもうちょっと、国がやってたように、デジタルで合理化しろっていうのを、つくば市だったらできるだろうと。今、非常に合理的ではないので、３か所を行ったり来たり、何となく登録しなきゃいけない現実があるので、そこを何とか改善して欲しいなとは思います。以上です、すいません。

（市長）

ありがとうございます。屋根についても、そうですね、そういう範囲であればいいという方もいらっしゃると思いますし、特に音楽をやられてる方はそう考えるでしょうし、全体には絶対駄目だという話ありまして、例えば磯崎先生なんかはむしろもうエリア全体に屋根をかけるぐらいのことをすべきだというようなこともおっしゃっていたりしましたので、多分考え方は、本当におひとりおひとりで全然違うのかなと思います。

エスカレーターも、今も、むしろ絶対に必要だったという方もいらっしゃいますし、絶対に反対だったという方もいらっしゃいますので、そのあたりは、おそらく何か一つの正解というのは私はないんだと思っていますけれども、やっぱりそれぞれの立場によって、全く違ってくると思うんですね、物の見え方というのは。

ですので、参加者 B さんは、音楽をやられる立場として屋根が必要で、でもエスカレーターは必要ないというお考えだったと思いますけれども、例えば全く逆の方もいらっしゃったりして、そういう中で今後必要なのは、やっぱりいろんな人がですね、いろんな形で対話をしながら、それぞれの立場と、別の人の立場などを考えながら、議論をしていくということなんだろうと思います。今の時点で、屋根というのをすぐということは考えていませんが、今回いろんな団体の皆さんが、センタービルにご関心をお持ちになってくださったというきっかけでもあると思いますので、そういうところでですね、ぜひ議論をいただけるといいなというふうに思っています。

団体の登録といったようなことについては、基本的には全く別の組織ですので、なかなか別の組織で情報共有するというのは、これは個人情報の問題なども出てきますので、市役所の中で完結することであれば、もちろんできるんですけれども、その先となってくるとまたちょっとアプローチが変わってくるのかなということも感じていますが、できるだけワンストップで、市役所では窓口に来ないで済むようにしようというのもやっています。いただいたご意見も踏まえてどんな可能性があるかというのはちょっと考えてみたいと思いますが、なかなか組織を超えた情報をまたがせるのは、今の法制度では、なかなかハードルがあるのかなと。ご本人が同意した場合はいいよというやり方は出してあるのかもしれませんけども。今のところは、すぐはなかなか難しいかもしれませんが、いずれはそういう世界に

なっていくんだろうというふうに思っています。お答えになってるかわかりませんけれど。

（参加者 B）
　ありがとうございました。わかりましたので、どうもありがとうございます。

（事務局・司会者）
　最後に、参加者 D 様からチャットの方にコメントをいただいていますので、それに対してコメントをさせていただきます。

（事務局・説明者）
　参加者 D 様のチャットの方で、飲食できるスペースが重要ですねと、文化的なカフェがあると良いということでいただいております。
　カフェについては、公共施設の方ではもちろんフリースペースで飲食も可能ということを考えているのですが、その他に、市の整備とは別に、広場の公共施設とは逆側、東側の方にまちなかデザインという会社が、働く人を支援する場を整備しておりますので、その中でカフェを設ける予定です。
　ですので、広場に面した部分で、公共施設の方はフリースペースでお話もできますし、その逆の方では、カフェの機能もできますので、センタービルの中にカフェができるということで今のところは考えております。

（事務局・司会者）
　そうしましたら、質問の方はないようですので、最後に市長の方から一言お願いいたします。

（市長）
　ご意見をいただきましてありがとうございました。やっぱりこうやって、皆さんのご意見を直接伺う機会っていうのはすごく大事だと常々思っています。例えば、昨日も説明会をやったんですけども、昨日は、あんなところにカフェやバーはいらないというご意見もあるわけですよね。絶対にカフェがあった方がいいという方もいらっしゃいますし、それは、その数の多さで決めたりするわけではないんですけれども、やはりこういうプロセスを通じて、それぞれの考え方が出て、その中で正解はなくても、どこかの合意点、着地点を見つけながら、まちづくりというのは、当然理想を描きながらしていくということが必要だと思いますし、今回のセンタービルのように本当にたくさんのご意見いただけるということは、我々にとっても非常にありがたいことです。いろいろ取り組みをやっても、ご関心を持ってもらうのに苦労するんですが、今回本当にたくさんの方々から、いろんなご意見いただけて、そういうものを我々もいろいろ受けとめて、ここはこんなふうにしようとか、こういうふうな設

備作ろうとか、そういうことを取り組んできての今の案ですので、ぜひ 28 日までホームページでも募集はしていますので、今日、なかなかご意見を言いにくかった方なども、よろしければそういうところで書き込んでいただけるとありがたいなというふうに思います。

皆さんとともに本当に市民のためになるような施設にしていきたいと思っていますので、ぜひよろしく願います。今日は本当にありがとうございました。

（事務局・司会者）

それでは以上をもちまして、つくばセンタービル改修計画に関する説明会を終了いたします。本日はご参加いただき、誠にありがとうございました。